

社会医療法人厚生会中部国際医療センター

病院の概要

開設時期：昭和28年
開設者：社会医療法人厚生会
院長名：杉山 温人
病床数：502床
標榜科：内科、循環器内科、消化器内科、腎臓内科、内分
泌代謝内科、呼吸器内科、血液内科、神経内科、
脳神経内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、
乳腺外科、脳神経外科、整形外科、泌尿器科、小
児科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、皮膚科、形
成外科、放射線科、放射線治療科、麻酔科、緩和
ケア科、病理診断科、リハビリテーション科、救
急科、総合診療科、精神科、腫瘍精神科、歯科口
腔外科

医師数：164名
指導医師数：73名
外来患者数：1,118名／日
入院患者数：463名／日
所在地：美濃加茂市健康のまち一丁目1番地
URL：https://cjimc-hp.jp/



病院の特徴

「地域の、日本の、世界の医療拠点へ」
「全ては病める人のために」という理念のもと、2022年1月に「中部国際医療センター」として新たなスタートを切りました。「中部国際医療センター」という名前には、「世界に通用するハイレベルな医療を提供する」という決意が込められています。そのために、新しい医療機器や質の高いスタッフ、充実した設備を配した医療体制を整え、満足度の高い医療を提供します。地域の健康を守る新たな拠点「健康のまち一丁目1番地」で、健康診断から高度な治療、病後のヘルスサポートまで「健康」を幅広くサポートすることで、地域の皆さんを支えています。

院長メッセージ



杉山温人

中部国際医療センターでは、地域医療に密着した現場で小児から高齢者に至るさまざまな年齢層の患者さんを診療し、さらに高度医療機器を駆使した最新の医療に触れることによって幅広い分野・領域の研修を受けることができます。「鉄は熱いうちに打て」と言う格言がありますが、医師にとって最初の2年間の初期研修とそれに続く後期研修は、その後の医師人生を左右する重要な礎となります。当院では、医師としての良識と品格を身につけ、安全で安心な医療を行うための基本的診療能力を取得するとともに、患者さんの立場に立った全人的医療を行える医師の養成を目指します。将来の日本の医療を担う責任感とリーダーシップのある医師になっていただけるよう、私たちは病院を挙げて全力でサポートいたします。当院で臨床研修を行っていただき、一緒に働けることを心よりお待ちしております。美濃加茂の地から日本全国へ、そして世界へと大きく羽ばたいて下さい。

指導医メッセージ

中部国際医療センターは、2022年に移転開設された急性期病院です。岐阜県中濃地域の中核病院として、多数の救急搬送やヘリポートを活用し遠隔からの重症症例も積極的に受け入れています。2025年4月からは三次救急医療機関として認定され、より高度な医療を必要とする患者さんも受け入れています。多種多様な症例を通じ、実践的なスキルを習得できます。当院は、長年にわたり培われてきた充実した指導体制を継承し、経験豊富な指導医が皆さんの成長をきめ細やかにサポートします。さらに、陽子線治療装置など豊富な医療資源も魅力です。勉強会や当直カンファレンスを定期的に開催し、総合力向上と重要症例の共有を図っています。医師としての第一歩を、ぜひ当院で踏み出してください。皆さんの目指すキャリアを実現できるよう全力でサポートします。皆さんと共に働くことを楽しみにしています。

研修医メッセージ

中部国際医療センターの研修は自主性が高く、かつ行った手技や検査に上級医からのフィードバックが得られる点が特徴です。当院以外にも自主性が高くやる気があれば多くの手技を経験できる病院はあると思いますが、当院での研修では更に自分が行ったことに対する評価や改善すべきところを学ぶことができるため、効率よく知識や技術を吸収できます。また日直、当直業務が週に1回程度ありますが、研修医1名と上級医1名がセクトになって行っており、研修医1人で患者さんを帰宅させることはめったにありません。研修医が主となって患者さんを診ますが、状態の評価や今後の対応をどうするのかは上級医と一緒に考え進めていくため、安心して業務にあたることができますし、1人で診るよりはるかに勉強になります。是非一度見学に来ていただき、当院のよさを実感していただければと思います。

研修スケジュール

	クール	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
	1年次	内科 28週							救急部門 12週			小児科 4週	外科 4週	精神科 4週
	2年次	産婦人科 4週	総合診療 4週	地域医療 4週	選択 40週									

救急当直研修は4回/月、1年次11カ月、2年次12カ月、合計23カ月実施する。

研修協力病院・施設

特定医療法人清仁会 のぞみの丘ホスピタル（精神科） 国立病院機構 長良医療センター（呼吸器内科） 社会医療法人白鳳会 鷺見病院（地域医療）
社会医療法人厚生会 多治見市民病院（腎臓・リウマチ膠原病内科） 郡上市民病院（地域医療） 津保川診療所（地域医療）
飛騨市民病院（地域医療） 美濃市立美濃病院（地域医療） 岐阜大学医学部附属病院（第1内科・第3内科）
可児とうのう病院（地域医療） 白川病院（地域医療）

後期研修・専門研修（予定）

内科、救急科、総合診療科、麻酔科、皮膚科の専門医として、修得した基本的な医学知識・技術を卓越した先輩医師たちと更にスキルアップすることができます。専門性を高めながら、地域医療にも貢献できる医師を育成するため、連携施設との協力体制を大切にし、充実した研修環境を提供しています。

【専門研修プログラム連携施設】

	岐阜大学 医学部附属病院	愛知医科大学病院	名古屋大学 大学病院	富山大学 附属病院	福島県立医科大学 附属病院	多治見市民病院	岐阜県 総合医療センター	岐阜市民病院	松波総合病院	中濃厚生病院	長良医療センター	朝日大市民病院	可児とうのう病院	郡上市民病院	名古屋第二 医療センター 病院	日赤愛知 医療センター	心臓血管研究所 附属病院	津保川診療所	国保白川 診療所	東白川 診療所	梶の木内科
内科	○	○				○	○	○	○	○	○		○	○	○	○					
皮膚科	○		○				○					○									
麻酔科	○					○	○	○	○												
救急科	○			○	○	○															
総合診療科																		○	○	○	○

研修プログラムの目標

医師としての人格を涵養し、医学・医療の社会的ニーズを認識して日常診療で遭遇する疾病に適切に対応できるよう、基本的・専門的診療能力（態度、技能、知識）を身につける。

- 1). 医師としての良識と品格を身につける。
- 2). 安全で安心な医療を行うための基本的診療能力を習得する。
- 3). 地域の基幹病院としての役割を理解し、地域医療の現場を経験する。
- 4). 患者さんの立場に立った人間味のある医療を目指す。
- 5). 多職種とコミュニケーションをとり、チーム医療を推進。
- 6). 国際的に活躍できる医療人の養成を目指す。

募集要項

応募資格：2028年3月に医師免許を取得する見込みである者
募集人員：12名（予定）
身分：常勤臨床研修医師
給与：与：初期研修1年目 740万円/年（諸手当含む）
初期研修2年目 860万円/年（諸手当含む）
住居：等：オール電化1Kタイプマンション、インターネット、セキュリティ完備、当院より徒歩5分
保険：等：健康保険加入、厚生年金、雇用・労災保険加入、医師賠償責任保険に病院で加入（個人加入は本人による）

連絡先

中部国際医療センター 臨床研修医募集係（担当：井村、中島）
電話番号：0574-66-1100
fax：0574-66-1661
E-mail：resident@cjimc-hp.jp

交通案内

